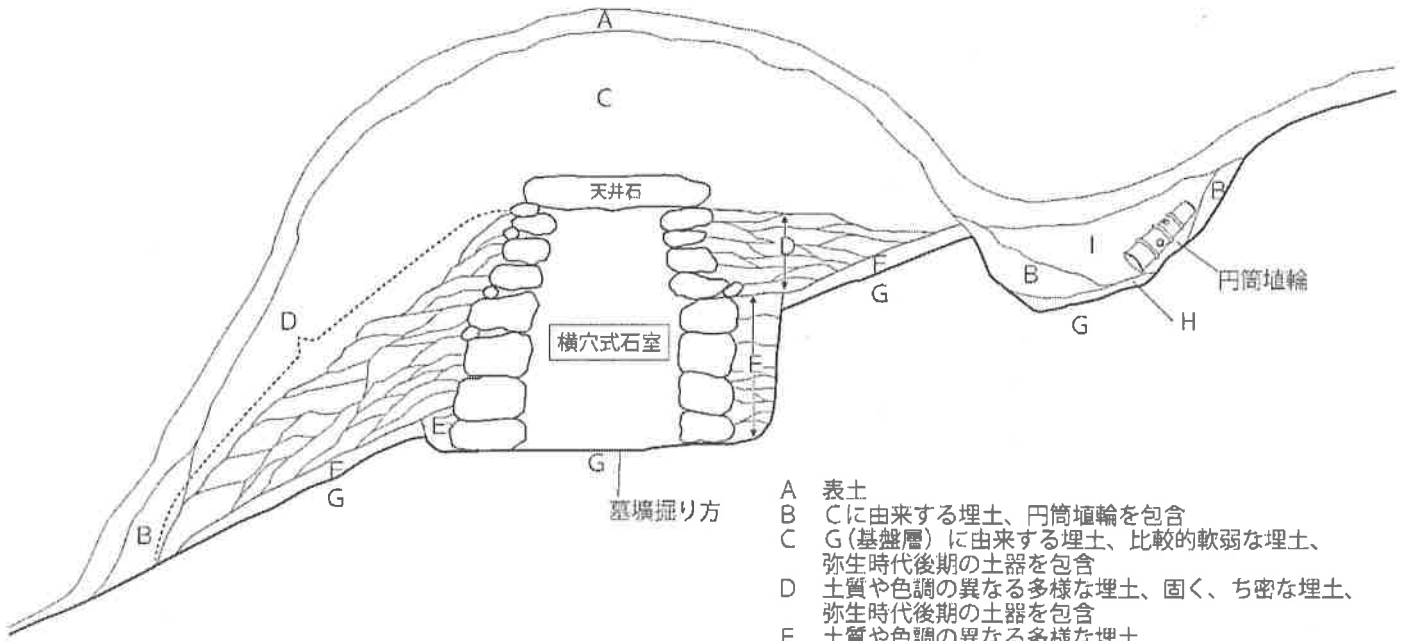


## 大学卒業程度試験 専門記述式問題（文化財専門職員（埋蔵））

次の各問について解答せよ。

- 問1 埋蔵文化財の特性を踏まえつつ、文化財保護法に基づく埋蔵文化財の保護システムについて説明せよ。
- 問2 考古資料における一括遺物の重要性について説明せよ。
- 問3 遺跡等の発掘調査において、仮説モデルを設定することの重要性について説明せよ。  
なお、仮説モデルとは調査対象（遺構や遺構を構成する諸属性（竪穴建物の支柱穴や炉跡、壁溝等））から、遺構や遺跡の性格等を導き出すために設定した復元モデルを指す。
- 問4 次のページの図は、横穴式石室の玄室中央付近の横断面図である。この図をみて、読み取れる考古学的な事柄を説明せよ。
- 問5 国府について説明せよ。



- A 表土
- B Cに由来する埋土、円筒埴輪を包含
- C G(基盤層)に由来する埋土、比較的軟弱な埋土、弥生時代後期の土器を包含
- D 土質や色調の異なる多様な埋土、固く、ち密な埋土、弥生時代後期の土器を包含
- E 土質や色調の異なる多様な埋土
- F 黒褐色土(わずかに炭化物を含む)
- G 基盤層(花崗岩風化パイラン土)
- H G(基盤層)に由来する埋土
- I C・Gに由来する埋土、円筒埴輪を包含